

令和6年度築山小学校【2回目】学校評価結果について

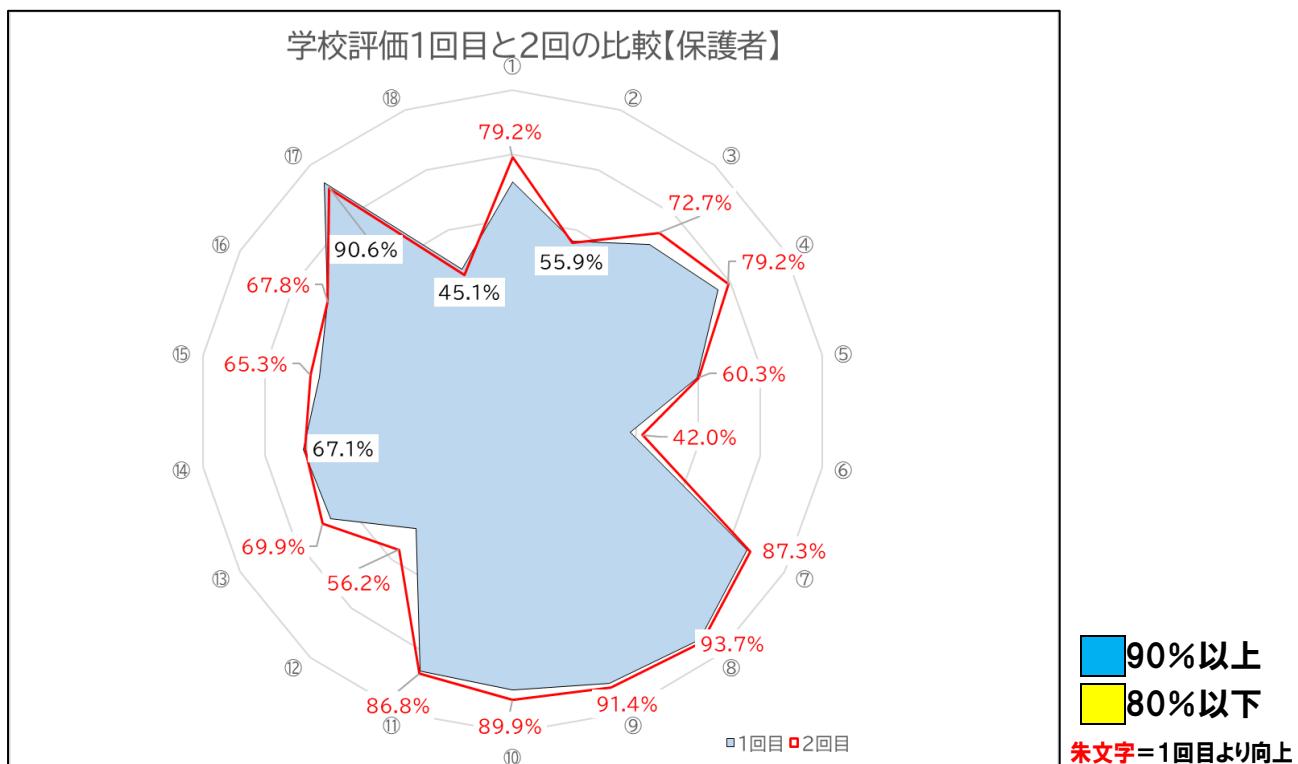
玉名市立築山小学校 校長 北岡 育久

ご協力いただきました、2回目の学校評価アンケートありがとうございました。今回の結果を基に来年度の教育活動に反映させて参ります。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

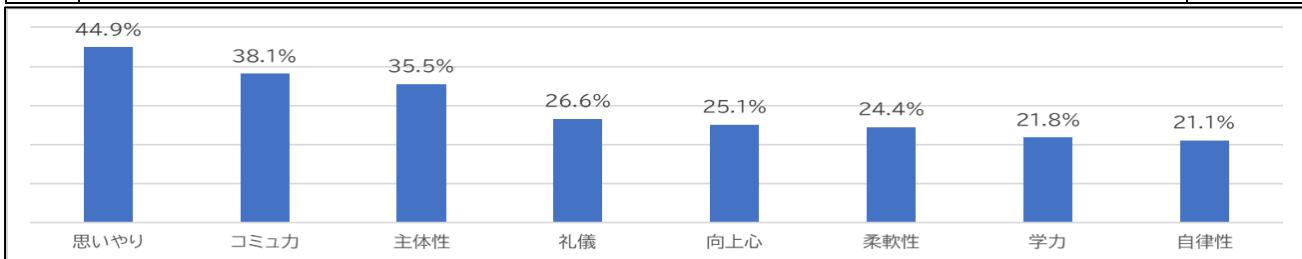
※自由記述欄に記名の上記載された方には、別途学校からの回答をお返しすることとしています。

【保護者による評価】



	1回目	2回目
問1 築山小は、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組ができていると思いますか。	71.5%	79.2%
問2 お子さんは、主体性(先を見通して自分で動くこと)が身に付いていると思いますか。	56.5%	55.9%
問3 お子さんは、柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)が身に付いていると思いますか。	67.8%	72.7%
問4 お子さんは、「学習内容がわかる」と言っていますか。	75.7%	79.2%
問5 お子さんは、宿題や家庭学習を工夫して取り組んでいますか。	59.6%	60.3%
問6 お子さんは、メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	37.9%	42.0%
問7 あなたは、自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができていますか。	86.2%	87.3%
問8 お子さんは、楽しく学校に通うことができていますか。	92.8%	93.7%
問9 お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思われますか。	90.1%	91.4%
問10 お子さんは、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守った生活ができていますか。	86.8%	89.9%
問11 お子さんは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていますか。	86.0%	86.8%
問12 お子さんは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	47.6%	56.2%
問13 築山小は、お子さんの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組(地域学校協働活動)に力を入れていると思いますか。	66.8%	69.9%
問14 築山小は、いじめや差別をなくするために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	67.6%	67.1%
問15 築山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	62.3%	65.3%
問16 築山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	67.8%	67.8%
問17 築山小は、「学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等」で、学校や学級の様子を適切に伝えていると思いますか。	93.0%	90.6%
問18 築山小は、職員の働き方改革に向けた業務改善ができると思っていますか。	47.2%	45.1%

問19 お子さんに身につけてほしい力(必要な資質・能力)を3つ選んでください。【上位8つの力を表示】



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

- ▲ 教育目標、柔軟性について、前回より向上したものの80%を下回りました。特に、主体性については、60%を下回り前回の数値からも下がってしまいました。予測不能な時代になる中で、受け身にならず、様々な課題に気づき、解決していくことで新たな未来を創り上げていくためにも、一人一人が主体的に取り組む力が求められます。

【学習に関する内容 問4～問5】

- ▲ 子供たちが「学習内容がわかる」と言っている点は向上したもの、未だ8割に満たない状況です。「誰一人取り残さない学びの保障」を今後も進めて参ります。
- ▲ 宿題や家庭学習を工夫して取り組ませるためにも、課題の与え方において工夫していく必要があると思います。

【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問6～問13】

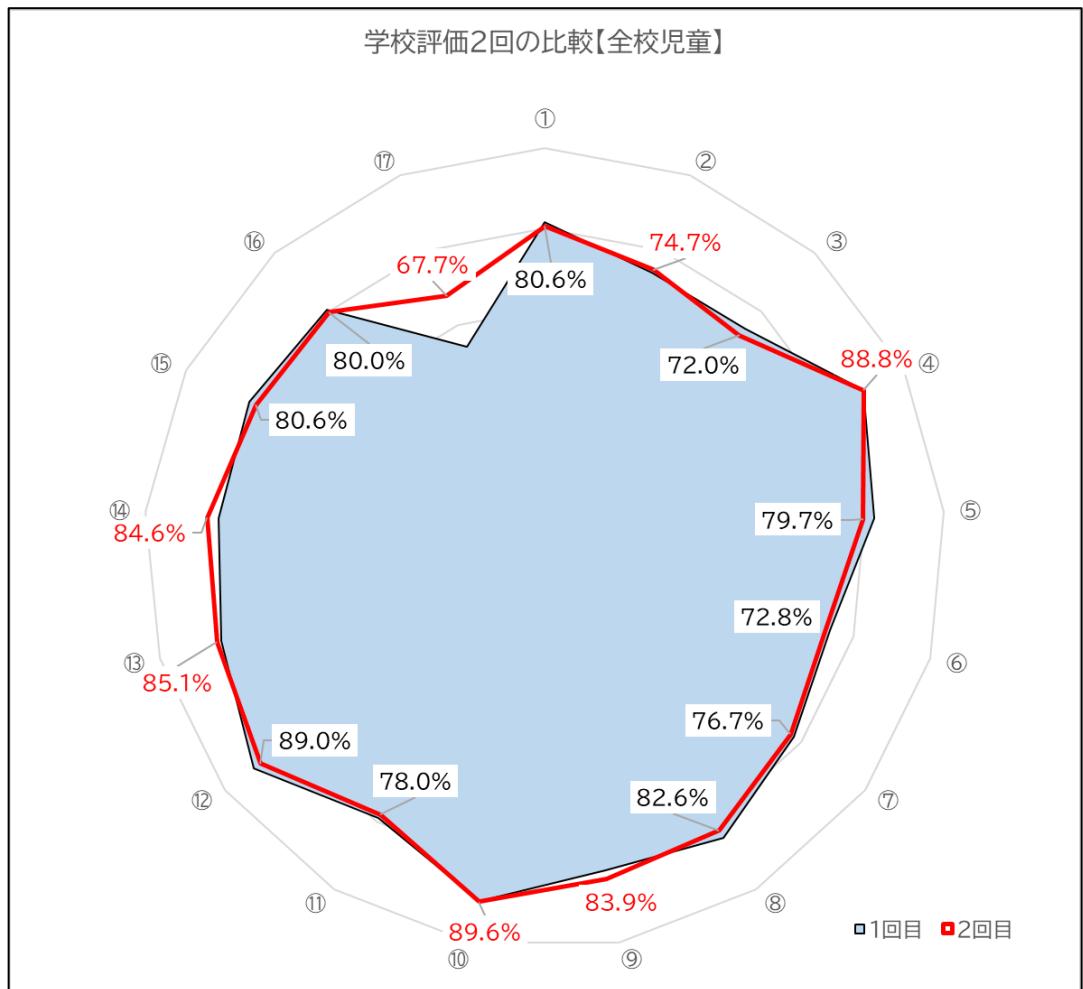
- 「楽しく学校に通っている」「いじめを許さないなどの人権意識が育っている」の項目は、前回から向上しています。引き続き学校を安心・安全な居場所にしていきます。
- ▲ 問5にも通じる「メディアコントロール」に関して、前回から若干の向上はあったものの未だ4割です。家庭内で約束事を決め、その約束事を守る声かけをお願いします。
- ▲ 地域とのつながりを通じた地域への愛着についても前回より向上しています。しかし、6割に満たない状況です。150周年記念事業等で、「地域の中の学校」を意識することができますので、今後多くの地域人材と触れ合う機会を確保していきます。

【築山小の取組に関する内容 問14～問19】

- 今後も学校の様子をHPや学校だより等にて伝えていきます。
- ▲ 人権教育や学力向上、体力向上などの取組について、学校内での取組をお伝えしたり、実際に見ていただいたりする機会を増やしていきたいと思います。
- ▲ 働き方改革につきましては、多くの業種・職種において人手不足が喫緊の課題となっていることはご存知と思います。そのためには、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を創りあげていく子供たちを最前線で支える教職員が健康であることが重要で、ワークライフバランスを整える働き方改革についてご理解をお願いします。
具体的には、「留守番電話の設置」「校務のICT化」に加え、勤務時間内に授業の準備等が行えるように日課の工夫なども行っています。さらに、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の方々にもご協力をいただき、外部人材による協力体制を整えることで、教職員だけではできなかった体験活動も増えています。

今後も子供たちのために、教職員が健康で、やりがいを持つことができる働き方改革に取り組んで参りますので、ご理解とご協力ををお願いします。

【児童による評価】



朱文字=1回目より向上

	1回目	2回目
問1 「築山っ子 7 か条」に向けた取組ができていると思いますか。	81.6%	80.6%
問2 主体性(先を見通して自分で動くこと)が身に付いていると思いますか。	73.6%	74.7%
問3 柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)が身に付いていると思いますか。	74.1%	72.0%
問4 学校の授業(学習内容)はわかりますか。	88.6%	88.8%
問5 宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	82.5%	79.7%
問6 メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	73.8%	72.8%
問7 自分から家庭内や地域で明るく元気なあいさつをすることができていますか。	77.9%	76.7%
問8 楽しく学校に通うことができていますか。	84.8%	82.6%
問9 友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	81.4%	83.9%
問10 学校や家、地域(公園など)での約束やきまり(交通ルールも)を守った生活ができていますか。	89.2%	89.6%
問11 生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)は守れていますか。	79.1%	78.0%
問12 地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、築山小学校区や玉名市のこと大切にしたいと思いますか。	90.9%	89.0%
問13 地域の人たちと一緒に学習や活動をすることは楽しいですか。	83.7%	85.1%
問14 いじめや差別をなくために、道徳や人権学習で学んだことをいかして生活していますか。	81.9%	84.6%
問15 自分の学力をのばすために積極的に授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	82.3%	80.6%
問16 体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	80.6%	80.0%
問17 学校だよりや学級通信、ホームページを読んだり、おうちの人と話題にしたりしていますか。	62.2%	67.7%

【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

▲ 今回も「主体性（先を見通して自分で動くこと）」「柔軟性（世の中の変化にしなやかに対応できること）」が身についているかという問い合わせに対して、いずれも80%以下の回答という結果でした。教師や周囲の大人が手を出してしまっていることも要因の一つと考えています。まずは、大人の意識を変えていくことが必要なかもしれません。

【学習に関する内容 問4～問5】

○ 「授業（学習内容）がわかる」と答えていた子供は、前回同様90%に迫る状況でした。しかしながら、残り10%の子供たちを誰一人取り残さないためにも、授業改善を今後も進めていきたいと思います。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問6～問11】

○ 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、若干下がったものの、未だに80%を超す肯定的な回答でした。引き続き、子供たちにとって心理的安全性の高い学校・学級についていきます。しかし、少數ながらその逆の回答をしている子供たちがいることから目を背けることなく、一人一人に寄り添った指導を行って参ります。

▲ 「自分からあいさつをする」は、前回からさらに下がり、約77%となっていました。校内外において、自ら進んであいさつができる子供たちになってほしいと思います。

▲ メディア時間をコントロールすることについては、前回からさらに低下してしまいました。やり始めると際限がなくなりますし、その分家庭学習や読書などの時間が奪われてしまうことになります。メディア機器は使いこなすことはあっても、振り回されないようにご家庭でもご指導をお願いします。

【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問12～問16】

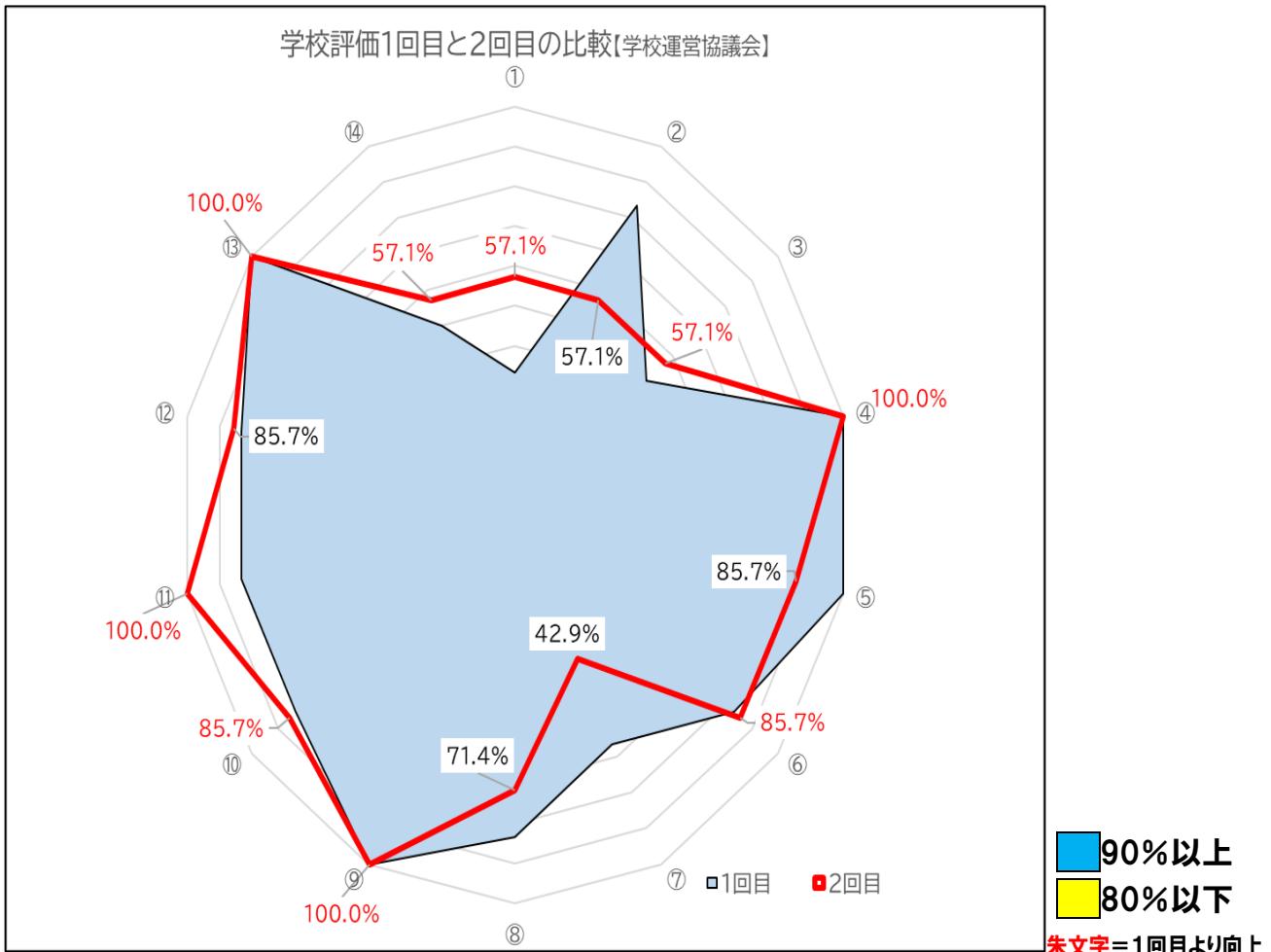
○ 地域を大切にする項目は若干の低下が見られましたが、地域の方々と一緒に学ぶことへの肯定的回復は向上していました。今後も多くの方々との交流の機会を増やして、様々な大人に触れ合えるようにしていきます。

▲ 学力を伸ばすために積極的な授業への参加や家庭学習への取組は、若干低下して8割止まりでした。学びに向かう姿勢を向上させるような指導の必要性を強く感じます。

【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問17】

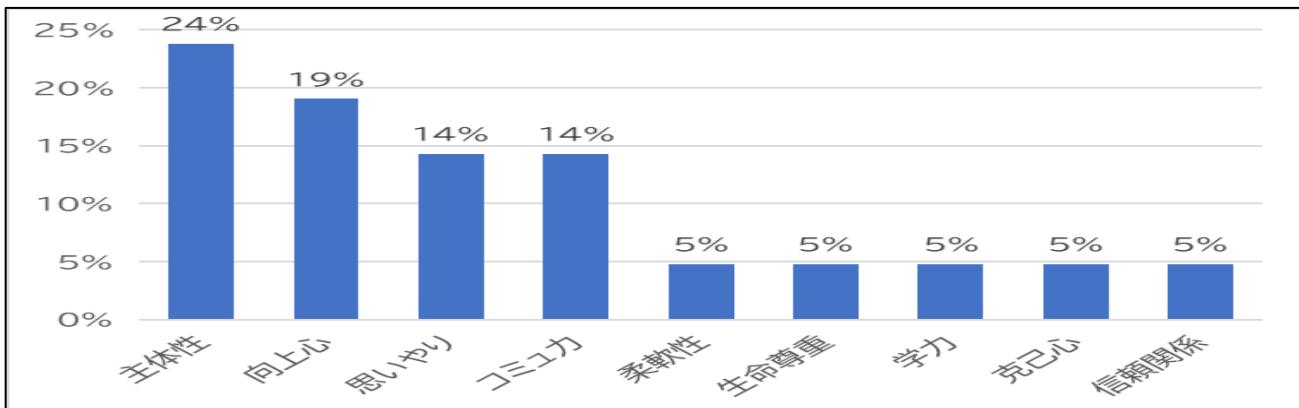
▲ 学校からの情報（HPや学校だより、学級・学年だより等）をもとにご家庭でも話題にしていると回答した子供たちが向上しました。とはいえ、未だに7割に満たない状況です。今後も親子の対話の材料にしていただきますようお願いします。

【学校運営協議会委員による評価】



	1回目	2回目
問1	あなたは、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組を提案又は実践されていますか。	33.3% 57.1%
問2	あなたは、子供たちの主体性(先を見通して自分で動くこと)を意識した取組を提案又は実践されていますか。	83.3% 57.1%
問3	あなたは、子供たちの柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)を意識した取組を提案又は実践されていますか。	50.0% 57.1%
問4	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをすることができていますか。	100% 100%
問5	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	100% 85.7%
問6	あなたは、子供たちが約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)を守るような声かけや取組をしていますか。	83.3% 85.7%
問7	あなたは、子供たちの生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は実践をされていますか。	66.7% 42.9%
問8	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着を身につける提案又は実践をされていますか。	83.3% 71.4%
問9	築山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100% 100%
問10	築山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	83.3% 85.7%
問11	築山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	83.3% 100%
問12	築山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	83.3% 85.7%
問13	築山小は、学校や学級の様子及びお知らせ(学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等)を適切に伝えていると思いますか。	100% 100%
問14	築山小の働き方改革に向けた業務改善について、提案又は実践をされていますか。	50.0% 57.1%

問19 築山小の子供たちに身に付けてほしい力(資質・能力)を3つ選んでください。



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

▲ 1回目の時にもお伝えしていましたが、学校運営協議会委員となつた方々は、学校運営を担う権限と責任が法的に定められています。学校教育目標や身に付けてほしい資質・能力に関して、共に具現化していくための取組をお願いします。

【子供たちへの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問4～問8】

▲ 生活リズムに関する家庭への提案・啓発は、機会も少ないため難しい評価だと思います。ただし、第2回学校運営協議会で子供たちが150周年記念事業に関する提案に対して意見交換を行ったことや第3回学校運営協議会で1回目の学校評価を元に皆様方から意見をいただいたことなどは「提案」として考えていただいてよいと思っています。

【築山小の教育活動に関する内容 問9～問14】

- 今回も前回同様、いずれも高い評価をしていただいている。今後も学校運営協議会として当事者目線で学校運営をともに進めていくための熟議（話し合い）を積み重ねていきたいと思っています。
- 「学校からの情報発信」につきましても前回同様高い評価をいただきました。今後も学校だよりやHPについて、委員の皆様にも常に共有できるように取り組んで参りたいと思います。

▲働き方改革につきましては、多くの業種・職種において人手不足が喫緊の課題となっていることはご存知のことと思います。また、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく子供たちを育成するため、その子供たちを最前线で支える教職員が健康であることが大切であり、ワークライフバランスを整える働き方改革に取り組むことは最重要課題と考えています。

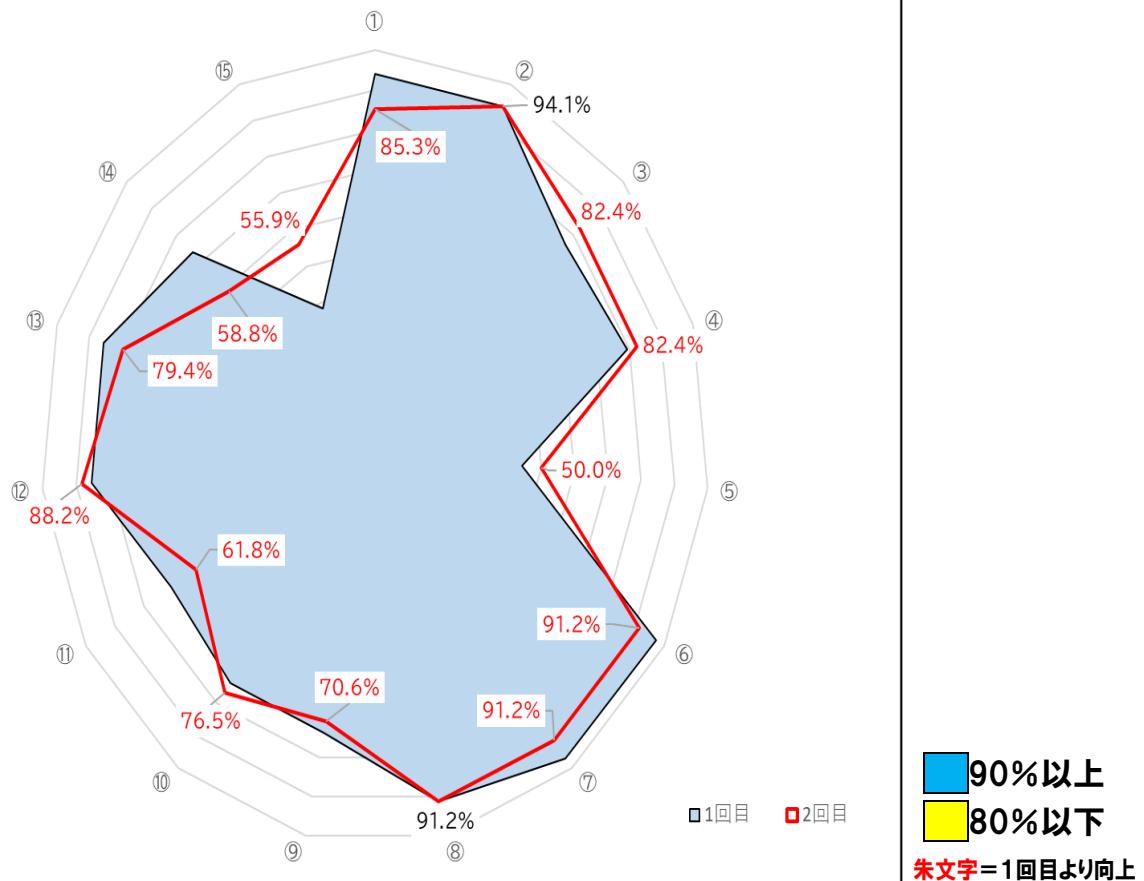
具体的には、前回もお伝えしたように「留守番電話の設置」「校務のICT化」に加え、勤務時間内に授業の準備等が行えるように日課の工夫なども行っています。

さらに、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の方々にもご協力をいただいたことで、外部人材による協力体制が拡充し、教職員だけではできなかつた体験活動を数多く取り入れることができました。

今後も子供たちのために、教職員が健康で、やりがいを持つことができる働き方改革に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

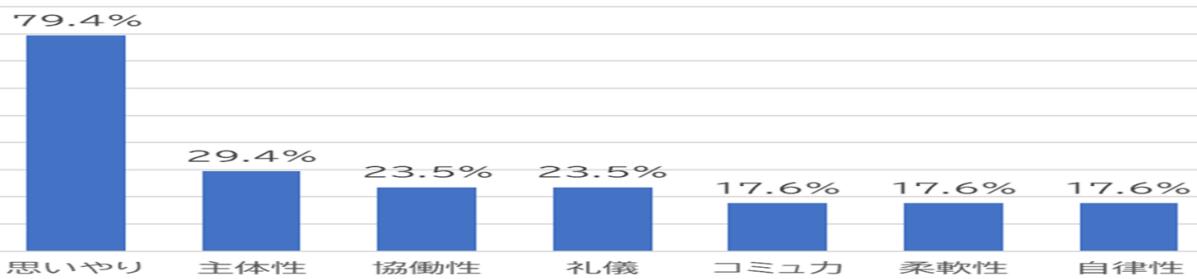
【教職員による評価】

学校評価1回目と2回目の比較【教職員】



	1回目	2回目	
問1	あなたは、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組がでていますか。	94.1% 90%以上	85.3% 80%以下
問2	あなたは、子供たちに身に付けてほしい「主体性(先を見通して自分で動くこと)」を意識した教育活動に取り組んでいますか。	94.1% 90%以上	94.1% 90%以上
問3	あなたは、子供たちに身に付けてほしい「柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)」を意識した教育活動に取り組んでいますか。	76.5% 80%以下	82.4% 90%以上
問4	子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。	79.4% 90%以上	82.4% 80%以下
問5	子供たちが、工夫して取り組める宿題や家庭学習を出していますか。	44.1% 80%以下	50.0% 80%以下
問6	あなたは、自分から子供たちに対して、明るく元気なあいさつをすることができていますか。	97.1% 90%以上	91.2% 90%以上
問7	あなたは、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や取組ができていますか。	97.1% 90%以上	91.2% 90%以上
問8	あなたは、子供たちが、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守るような指導や取組ができるでいますか。	91.2% 90%以上	91.2% 90%以上
問9	あなたは、子供たちが、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣を身に付けるような声かけをしていますか。	73.5% 90%以上	70.6% 80%以下
問10	子供たちは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	73.5% 90%以上	76.5% 80%以下
問11	あなたは、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会(CS)や地域人材を活用した取組(地域学校協働活動)を活用していますか。	70.6% 90%以上	61.8% 80%以下
問12	あなたは、子供たちの学力を伸ばすために、授業や個別指導などを工夫して行っていますか。	85.3% 90%以上	88.2% 90%以上
問13	あなたは、子供たちの体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていますか。	85.3% 90%以上	79.4% 80%以下
問14	あなたは、学級や子供たちの様子及びお知らせ等を各家庭にわかりやすく伝えていますか。	73.5% 90%以上	58.8% 80%以下
問15	あなたは、働き方改革に向けた業務改善がでていますか。	38.2% 80%以下	55.9% 80%以下

問16 子供たちに身につけてほしい力(必要な資質・能力)を3つ選んでください。【上位7つの力を表示】



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

- 教育目標の実現及び身につけてほしい資質・能力（主体性・柔軟性）を意識した取組が高い結果となりました。全ての教育活動において、これらを意識して取り組むことが大切だと考えています。ただし、教育目標に向けた取組は、前回よりも約8pt下がっていることに課題が残ります。全職員で教育目標への取組を強化したいと思います。

【学習に関する内容 問4～問5】

- 子供たちが「学習内容がわかる」と思っている項目は前回より3pt向上しました。今後も、誰一人取り残さない学びの保障に向けた授業及び個別対応を行って参ります。
- ▲ 反面、子供たちが工夫して取り組める家庭学習に関しては、向上したもののが5割にとどまっています。生涯学び続ける子供たちになるためにも、自ら学びに向かうような内容を工夫するなどの改善が必要であると考えます。

【子供たちの生活等に関する内容 問6～問9】

- ▲ いずれも高い評価ですが、前回から約6pt低下していました。いじめや差別はする側の問題であり、決して「いじめや差別を許さない」といった人権意識向上に向けて全職員で取り組んで参ります。また、あいさつに関しましても、自ら進んで元気なあいさつを行って参ります。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問10～問11】

- ▲ 150周年記念事業を機に各学年で地域への関心を高めることにつながりました。その点で地域への愛着が身についたという項目が3pt向上したと思います。しかし、いまだに8割以下ですし、学校運営協議会や地域学校協働活動の活用が低いのが課題です。働き方改革にもつながりますので、積極的に地域人材と連携・協働を図っていくとともに、双方向の取組の中で子供たちの力が高まるようにしていきます。

【教職員自身の取組に関する内容 問12～問15】

- ▲学校からの情報提供（学級通信やHP等）については、残念ながら約15pt低下してしまいました。学校での様子や子供たちの成長などをできる限りお伝えしていきたいと思います。

- ▲働き方改革については、前回から約18pt向上しましたが、6割に満たない状況です。全国的に問題となっています教職員不足も影響しています。教師が健康で元気でなければ、子供たちへの指導はもちろん、きめ細やかな配慮も行えません。私たち自身が、子供たちのための働き方改革であることを意識して、断行していきたいと思います。